

株主のみなさまへ

第4期中間決算のご報告

平成19年 4 月 1 日から
平成19年 9 月30日まで



株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション

ごあいさつ

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第4期中間期（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、企業業績はおおむね堅調に推移し、設備投資や雇用状況の改善を背景に景気の拡大傾向は緩やかながらも持続いたしました。原油や非鉄金属をはじめとする原材料価格の高騰、米国経済の減速懸念等、景気の先行きは不透明感が増してきました。特に、当社グループにおける主要原材料である鉛の価格は、当期に入り急激に上昇し、史上最高値を更新するまでに至り、当社グループの経営にとって非常に厳しい状況となりました。

このような経営環境のもと、当社グループでは、新たな成長を実現すべく「第一次中期経営計画」（2006年度～2008年度）および「自動車電池事業再生2ヵ年計画」（2007年度～2008年度）に沿い、前期に引き続き収益体質の抜本的改善および業績目標の達成に向けた諸施策への取り組みを推進いたしました。

その結果、当中間期の連結売上高は、国内市場では補修用自動車電池は販売数量が減少いたしましたものの、産業電池および電源装置が好調に推移し、加えて、主要原材料である鉛の価格の高騰を受けて販売価格の改定を国内、海外市場において実施したこと等により、1,376億68百万円と、前中間期に比べ169億17百万円（14.0%）の増収となりました。

利益面につきましては、人件費をはじめとした経費は減少いたしました。また、主要原材料である鉛の急激な価格の高騰に国内市場における販売価格の改定が追いつかず、当中間期の連結営業損失は7億5百万円と、前中間期に比べ18億27百万

円の減益となりました。

また、持分法損益の悪化、円高傾向に伴う為替差益の縮少等もあり、当中間期の連結経常損失は15億51百万円と、前中間期に比べ26億51百万円の減益となりました。

なお、関係会社株式の売却益などを特別利益に計上する一方、固定資産除却損などを特別損失に計上し、さらに法人税等調整額を含む税金費用を加味いたしました結果、連結中間純損失は16億35百万円と、前中間期に比べ26億30百万円の減益となりました。

当中間期の配当金につきましては、当中間期連結業績を鑑み、誠に申し訳ございませんが、見送らせていただきましたことをご報告申し上げます。

今後の見通しにつきましては、引き続き非常に厳しい経営環境が続くものと想定されますが、当社グループでは、さらなる合理化や経費削減に取り組むとともに、コストに見合った適正な販売価格への引き上げを行ない、前記の「第一次中期経営計画」の目標を必達すべく、なお一層推進いたしてまいりますので、みなさま方の倍旧のご指導とご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

平成19年12月



取締役会長
秋山 寛



取締役社長
依田 誠

第一次中期経営計画(2006年度~2008年度)

当社は、2006年5月に発表いたしました第一次中期経営計画の目標達成に向けて取り組んでおります。その進捗状況は、下記のとおりです。

1. 第一次中期経営計画の進捗

2006年度は、一層の競争の激化や主要原材料である鉛の価格が高騰する厳しい経営環境が依然続く中、事業の拡大、合理化、総コストの削減に努めました。その結果、経営成績は、2005年度の実績を上回りましたものの、第一次中期経営計画の初年度経常利益目標を達成することはできませんでした。

その原因は、国内自動車電池事業の計画未達にあります。この課題に対処するため、自動車電池事業再生2ヵ年計画(2007年度~2008年度)を策定し、事業のさらなる効率化を推進するとともに、グループ全体にわたり経営資源の再配置を行ない、自動車電池事業の黒字化を図ります。

自動車電池以外の事業戦略課題は、計画どおり推移しており、現在推進しております第一次中期経営計画の目標達成に向け、取り組みのスピードを引き上げ、さらなる強化を図ってまいります。

2. 目 標

最終年度2008年度損益目標と経営指標

売上高	2,600億円		
営業利益	130億円	営業利益率	5.0%
経常利益	120億円	経常利益率	4.6%

3. 特別プロジェクト

第一次中期経営計画の経営目標を実現するため複数の事業会社にまたがる事業戦略課題に取り組むため、特別プロジェクト(1. 本社と管理間接部門のスリム化、2. 国内自動車電池事業の利益改善、3. HEV・EV市場への本格的参入、4. 中国・アジア市場の拡大、5. 大型リチウムイオン電池事業の拡大)を設置し、迅速な意思決定を図り、実行しております。

トピックス

環境配慮型高性能自動車用バッテリー「ECOR(エコアール)シリーズ」を刷新

(株)ジーエス・ユアサ バッテリーは、環境配慮型高性能自動車用バッテリー「ECOR(エコアール)シリーズ」8形式16タイプを、温室効果ガス(CO₂)の削減や燃費向上を実現する新技術を採用したバッテリーに刷新し、平成19年8月から発売いたしました。

本製品は、充電受け入れ性能が当社従来品比で約10%向上させることに成功し、

サンデードライバーなどの放電気味の車両での使用においても短時間での充電回復効果が期待できます。

また、この技術により、第三者機関による充電制御車のテスト(10・15モード)では、当社従来品比で平均約2%のCO₂削減と平均約2%の燃費向上が実証されております。



省エネランプ「エコセラ」による社会貢献活動をスタート

(株)ジーエス・ユアサ ライティングは、「エコセラにできること。子どもたちにワクチンを!」という社会貢献活動を平成19年7月から展開しております。

世界では、1日に約4千人もの子どもたちが、予防できる感染症で命を落としています。そのような子どもたちのために、HID(高輝度放電灯)光源メーカーとして初めて世界の子どもたちにワクチンを贈る認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会」への活動に協力することといたしました。省エネ性能に優

れたセラミックメタルハライドランプ「エコセラ」1灯の販売に対し、ワクチン1人分をお客様とともに支援させていただくもので、年間30万人分の支援を目指しております。



中間単独貸借対照表

平成19年9月30日現在

(単位：百万円)

資 産 の 部		負債および純資産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	(151,677)	(負債の部)	(67,791)
流動資産	66,270	流動負債	51,821
現金および預金	25	短期借入金	24,256
売掛金	312	コマーシャルペーパー	4,000
たな卸資産	25	1年以内返済予定の長期借入金	22,658
関係会社短期貸付金	64,747	未払金	718
未収入金	969	未払法人税等	14
その他	189	その他	173
固定資産	85,384	固定負債	15,970
有形固定資産	1,186	長期借入金	15,678
無形固定資産	70	役員退職慰労引当金	186
投資その他の資産	84,127	繰延税金負債	105
繰延資産	22	(純資産の部)	(83,885)
		株主資本	83,731
		資本金	16,505
		資本剰余金	62,820
		利益剰余金	4,491
		自己株式	△ 86
		評価・換算差額等	154
資産合計	151,677	負債および純資産合計	151,677

(注) 1.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2.有形固定資産の減価償却累計額

4,141百万円

3.1株当たり純資産

228円42銭

中間単独損益計算書

平成19年4月1日から平成19年9月30日まで

(単位：百万円)

科 目	金 額	
営 業 収 益		1,635
販売費および一般管理費		1,152
営 業 利 益		483
営 業 外 収 益		
受取利息および配当金	766	
そ の 他	148	915
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	459	
そ の 他	82	541
経 常 利 益		856
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	18	
事 業 再 編 費 用	6	
そ の 他	24	49
税 引 前 中 間 純 利 益		807
法人税、住民税および事業税		1
中 間 純 利 益		805

(注) 1.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2.1 株当たり中間純利益

2円19銭

中間連結貸借対照表

平成19年9月30日現在

(単位：百万円)

資 産 の 部		負債および純資産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	(259,544)	(負債の部)	(173,269)
流動資産	129,937	流動負債	123,672
現金および預金	7,445	支払手形および買掛金	25,593
受取手形および売掛金	61,819	短期借入金	69,385
たな卸資産	48,113	コマーシャルペーパー	4,168
繰延税金資産	1,939	未払金	12,570
その他	11,076	未払法人税等	1,227
貸倒引当金	△ 457	繰延税金負債	1
		その他	10,726
固定資産	129,585	固定負債	49,596
有形固定資産	80,339	長期借入金	25,401
無形固定資産	2,787	繰延税金負債	3,053
投資その他の資産	46,458	再評価に係る繰延税金負債	4,025
繰延資産	22	退職給付引当金	6,043
		役員退職慰労引当金	299
		その他	10,773
資産合計	259,544	(純資産の部)	(86,275)
		株主資本	59,855
		資本金	16,505
		資本剰余金	38,339
		利益剰余金	5,104
		自己株式	△ 92
		評価・換算差額等	20,902
		その他有価証券評価差額金	11,639
		繰延ヘッジ損益	383
		土地再評価差額金	5,912
		為替換算調整勘定	2,966
		少数株主持分	5,517
負債および純資産合計	259,544	負債および純資産合計	259,544

(注) 1.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2.有形固定資産の減価償却累計額

123,830百万円

3.1株当たり純資産

219円92銭

中間連結損益計算書

平成19年4月1日から平成19年9月30日まで

(単位：百万円)

科 目	金 額	
売 上 高		137,668
売 上 原 価		113,552
売 上 総 利 益		24,116
販売費および一般管理費		24,821
営 業 損 失		705
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 お よ び 配 当 金	318	
為 替 差 益	13	
そ の 他	1,067	1,398
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	1,421	
持 分 法 に よ る 投 資 損 失	220	
そ の 他	602	2,244
経 常 損 失		1,551
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益	10	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	493	
そ の 他	89	593
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	74	
固 定 資 産 売 却 損	12	
投 資 有 価 証 券 売 却 損	0	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	2	
高 槻 事 業 所 跡 地 再 開 発 関 係 費 用	94	
事 業 再 編 費 用	6	
そ の 他	184	375
税金等調整前中間純損失		1,333
法人税、住民税および事業税	1,486	
法人税等調整額	△1,016	469
少数株主損失		167
中 間 純 損 失		1,635

(注) 1.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2.1株当たり中間純損失

4円45銭

中間連結株主資本等変動計算書 平成19年4月1日から平成19年9月30日まで

(単位：百万円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等	
	資本金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 株 式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰 延 償 還 損 益
平成19年3月31日残高	16,505	38,339	7,841	△ 93	62,592	11,126	9
中間連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当			△ 1,101		△ 1,101		
中間純損失			△ 1,635		△ 1,635		
自己株式の取得				△ 15	△ 15		
自己株式の処分				15	15		
株主資本以外の項目の中間連結会計年度中の変動額(純額)					—	513	374
中間連結会計年度中の変動額合計	—	—	△ 2,736	0	△ 2,736	513	374
平成19年9月30日残高	16,505	38,339	5,104	△ 92	59,855	11,639	383

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	土 地 再 評 価 差 額 金	為 替 換 算 調 整 勘 定	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		
平成19年3月31日残高	5,912	1,677	18,725	4,465	85,783
中間連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			—		△ 1,101
中間純損失			—		△ 1,635
自己株式の取得			—		△ 15
自己株式の処分			—		15
株主資本以外の項目の中間連結会計年度中の変動額(純額)	—	1,289	2,177	1,051	3,228
中間連結会計年度中の変動額合計	—	1,289	2,177	1,051	492
平成19年9月30日残高	5,912	2,966	20,902	5,517	86,275

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要

平成19年9月30日現在

商号	株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション GS Yuasa Corporation
事業目的	傘下のグループ企業全体の経営戦略を策定、統括し、グループの企業価値の最大化を図る。
設立	平成16年4月1日
資本金	16,505百万円
発行済株式総数	367,574,714株
株主数	41,217名
本社所在地	京都本社 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地 電話 (075)312-1211 東京本社 東京都港区芝公園二丁目11番1号 電話 (03)5402-5800
ホームページアドレス	http://www.gs-yuasa.com/jp
上場金融商品取引所	東京証券取引所 大阪証券取引所

役員

平成19年12月7日現在

取締役会長 (代表取締役)	秋山寛
取締役社長 (代表取締役)	依田誠
取締役副社長 (代表取締役)	上田温之
専務取締役	中村正昭
常務取締役	前野秀行
常務取締役	小野勝行
常務取締役	椎名耕一
取締役	北村昇
監査役(常勤)	楠山俊輔
監査役(常勤)	植村茂夫
監査役(常勤)	清水正
監査役	藤井勲

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒541-0041 大阪市中央区北浜二丁目2番21号 中央三井信託銀行株式会社 大阪支店 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 本店および各支店 日本証券代行株式会社 本店および各支店

(お知らせ)

住所変更、单元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求等は、下記株主名簿管理人 中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

フリーダイヤル 0120-87-2031 (24時間受付:自動音声案内)
ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html